

○武井玲子*、稲葉敦**、永山升三*³、橋本茂*⁴、伊藤紀之*³)

(*共立女大院、**工技院、*³共立女大、ライオン*⁴)

目的 地球環境保全をねらいとした家庭用化学品に対して、地球環境への影響を評価する手法であるライフサイクルアセスメント(LCA)を用いて定量的、科学的分析を試み、生活者にとっての環境負荷のより少ない生活スタイルに関する考察を行った。

方法 対象：家庭用化学品のうち台所用洗剤容器をとりあげ、従来品(含む濃縮品)および詰め替え容器(スタンディングパウチ、他)の市販品の環境負荷を推算。それとともに、環境を志向した詰め替え容器に対する生活者の購入意向、使用実態、使用性評価のアンケートを実施した。

評価手法：日本のLCAデータベースとして実績のあるシステム(工業技術院資源環境技術総合研究所作成データベース：NIRE-LCA)を用い、容器の原料採取から製造、使用、廃棄の各プロセスに沿って、必要エネルギーと大気圏排出物(CO₂、NO_x、SO_x)を求め、生活者の1回当たりの使用量に換算。また、一般生活者を対象としたアンケート結果から環境負荷の少ない生活スタイルを検討。

結果 詰め替え容器は必要エネルギー、大気圏排出物としてのCO₂、NO_x、SO_xともに最も低い値であった。台所用洗剤1回当たりの使用量に換算した場合の環境負荷量と共に、生活者に対する使用性等のアンケート調査解析結果に基づき、環境負荷のより少ない容器を使用する生活スタイルを提案する。